

教育部



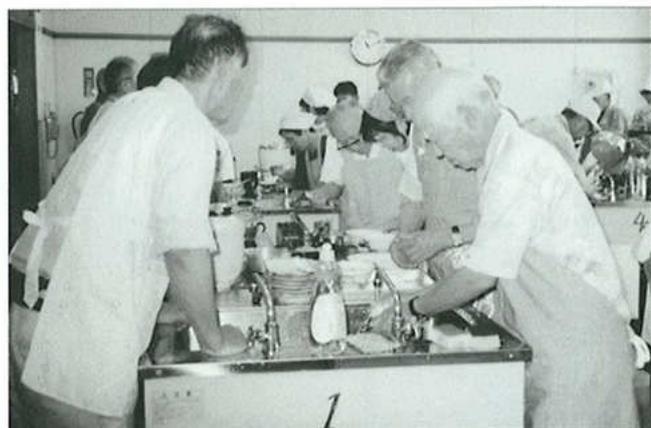
老後の教養活動 について

教育部長 村上悦男

老人クラブにおける教養活動とは、戦争時代を体験した私共が終戦後の国際情勢や社会状況の変化をよく認識し、現状に適応して、社会の一員、家族の一人として、共により良い生活が出来る様に、道徳心の高揚や諸々の活動をする事であります。又、教養活動は楽しみの中の活動の中に、教養や健康の面も付加されています。このため、クラブ活動をすすめてゆく上で、これらの相関関係を十分に留意する必要があります。蒲郡市老人クラブ連合会では各地区毎に精力的に各種の講師を招き学習や研究、諸施設の見学等を熱心に行っています。最近、従来考えられなかった悪質異常な事件が頻発しておりますが、その大きな理由の一つは、戦前の道徳を中心とした教育は誤っていたとする終戦後の教育に原因があると考えられます。戦前の「教育勅語」は形式的に問題があるかもしれませんが、道徳に関する部分即ち、「父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ボシ学ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓発シ徳器ヲ成就シ進テ公益ヲ広メ…」は、学校や家庭、社会全般に浸透され、道徳の根幹となっていたと思います。而し敗戦のショックで、すべて「自由」を優先第一に進んで来た結果、道徳のよりどころを失い、今日の状態をまねいたと思われます。戦後六十年、ようやく国民の多くの人達がこの教育方針の間違いに気がつき、方向転換を模索しています。私共戦争を経験した高齢者が各自の子孫に少しでも正しく指導する事も大事な事と思われます。私共が地域社会の人々と積極的に交流し、相互理解を深めるとともに、老人の能力を社会に少しでも役立てるようにしたいと思います。



男の料理教室(9月21日)中部市民センター調理室



男の料理教室(7月20日)西部市民センター調理室



全国一斉 社会奉仕の日(9月20日)竹島 清掃奉仕



健康づくり食生活改善協議会による栄養教室(9月21日)